

和泉に眠る幻の武家屋敷「伯太藩陣屋跡」を訪ねて 日本一の信太山盆踊りから伯太神社へ

江戸時代、和泉には伯太藩の陣屋がありました。残念ながら陣屋や武家屋敷などは残っていませんが、その周辺を巡ってみましょう。知られざる「和泉の武士」の物語がそこかしこに眠っています。

① 栄久堂吉宗

戦前、創業者が大阪市天王寺区玉造で和洋菓子製造御「花徳」を創業。しかし、焼失して廃業。戦後、西淀川区の「栄久堂吉宗本店」(天保元年・1830年創業の老舗)で修業し、東大阪にて独立。昭和45年(1970)に和泉市で「和菓子舗 栄久堂吉宗」を開業して現在に至っています。「お伊勢さん菓子博2017」で「和泉なるさめ」が食料産業局長賞を受賞しました。

② 西植平街道碑

南王子村の西端の街道でした。大正時代に西田、植田、平松の三氏の世話で開通したので、その頭文字から「西植平」の名がつけました。その頃は街道より西側は田畑が広がっていました。すぐ隣に「左聖神社参道」の案内碑もあります。

③ 後鳥羽院歌碑

藤原定家の『御幸記』によると建仁元年(1201)10月6日に後鳥羽上皇が熊野御幸のさい、平松王子近くの行宮(平松御所)で宿泊したといわれています。そのさいに詠んだ「平松はまた雲深く立にけり明け行く鐘はなにはわたりか」の歌碑です。

④ 信太山盆踊り(放光池1号公園)

信太山盆踊りは、後白河院が平松王子に宿泊した際、村人が御前で踊りを舞ったのが起源といわれ、『御幸記』にも「次平松王子、於王子殊有乱舞沙汰」(次に平松王子、この王子に於いて殊に乱舞の沙汰あり)の記述があります。戦前は2000名以上が三日三晩、踊りぬぎ、昭和8年(1933)9月1日号の『阪和ニュース』では「正に日本一の信太山盆踊り」という見出しで紹介されました。阪和鉄道は終日運行し、日本全国各地から見物客が来るので、駅から会場の空池まで人の列が途絶えなかったといわれています。和泉市人権啓発協議会・歴史文化協会の銘板「信太山盆踊り」が放光池1号公園にあります。また公園西側に「平松王子跡」碑があります。熊野街道に向かう九十九王子の10番目の王子社です。平安時代には「蟻の熊野詣」と呼ばれるほど熊野参詣が流行しました。延喜7年(907)に宇多法皇が御幸し、白河上皇9度、鳥羽上皇21度、後白河上皇34度、後鳥羽上皇28度の御幸記録があります。その後、下火になりますが、江戸時代に入って元和5年(1619)、紀州藩主・徳川頼宣が熊野三山復興に力を入れ、庶民の間で熊野参詣が流行しました。



⑤ 石燈籠(放光池1号公園)

放光池の堤防、道の西側にあったもので、昔は大阪湾の航行する船に現在位置を知らせたといわれています。約300年前のものと推察されています。

⑥ 伯太藩陣屋跡

伯太藩1万3000石の藩庁跡です。歴代藩主は徳川譜代の三河渡辺氏。徳川十六神将で「槍半蔵」と恐れられた渡辺守綱の一族で、遠祖は羅城門の鬼退治で有名な渡辺綱になります。陣屋の「搦手門」は堺市豊田の小谷城郷土館に移築、現存しています。

⑦ 旧伯太藩武家屋敷碑

伯太藩は武家として小藩ながら、優秀な人材を輩出しています。例えば代官・伊庭正人の長男の伊庭貞剛。藩の飛び地の西宿村(現・近江八幡市)で生まれ、御所警備隊、司法少検事などを経て大阪上等裁判所判事に。しかし明治新政府に失望して、母方(北脇家)の叔父で住友総領事・広瀬幸平の勧めで住友に入社しました。第2代住友総理事となって、荒れた別子銅山に植林し、その管理のために住友林業を設立。足尾銅山鉅害を追及していた田中正造も「我が国銅山の模範」と認め、企業の社会的責任の先駆として高く評価されています。また家老・小林家の子息・小林有也は東京物理学講習所(現・東京理科大学)創立者の一人です。長野県・松本中学校長に赴任すると、寄付を集めて荒れ放題で傾いていた松本城天守閣の大修理を実施。松本城は現存し、国宝です。また家老・今井家の子孫には俳優・歌手の西田敏行がいます。

⑧ 伯太神社

社伝では飛鳥時代の白鳳2年(674)創建といわれています。御祭神は伯太比古命・伯太比売命などです。百済系渡来人と推測されている田辺氏の祖霊であり、奈良時代の田辺史(ふひと)は、藤原不比等を養育したといわれています。「史」は「書人」(ふみひと)が転じたものとされ、書記を派出した一族なのかも知れません。また小竹祝丸、天野祝丸を祀っていますが、この2人は『日本書紀』に登場します。神功皇后が忍熊王の乱で紀伊に入ると何日も夜が続きました。そこで知恵者の豊耳に尋ねると、小竹(しの)の祝(はふり=神官)が病死して、嘆き悲しんだ「善(うわしき)友」の天野の祝が後追い自殺し、合葬され、その「阿豆那比(あずない)の罪」が原因といわれています。そこで墓をわけると変事は収まりました。この2人は実は同姓愛者で、これは日本最古の男色の記述であると『国史大辞典』などでは記されています(諸説あります)。

⑨ 伯太薬師堂五輪塔

大阪府指定有名文化財。高さ約1.3メートルで、鎌倉時代中期のものと考えられています。700年以上、地域住民の信仰の対象であり、まさに伯太の歴史の生き証人です。

⑩ 西光寺白蓮

元禄6年(1693)9月、大和国柳本藩(天理市)の専明院より開了法師が蓮を持参し、「西光寺白蓮」として伝わっています。柳本藩主は織田有楽斎(信長の弟)の一族で、歴代藩主・織田公が遺愛した蓮といわれています。

⑪ 和泉市人権文化センター資料室

「葛の葉伝説」「小栗判官伝説」「信太山盆踊り」など和泉の歴史、文化、人権、民俗に関する資料室です。

[入館料]無料 [開館時間]10:00~18:00 [休館日]月曜日(祝祭日の場合は開室)、休日(祝祭日)の翌日、年末年始、臨時休業期間
[電話・FAX番号] 0725-47-1560

まち歩きマップ「和泉そぞろ」は「いずみ市民大学」の「観光おもてなし学科」の資料として作成されました。掲載されている情報は令和2年(2020)12月現在のものです。和泉のまち歩きのさいにご利用してください。

プロデュース|陸奥賢[観光家/大阪まち歩き大学学長] コーディネーター|室楽陸寛[NPO法人SEIN/コミュニティLab所長] イラスト&マップ制作|田中保帆 協力|いずみ市民大学観光おもてなし学科受講生(はるパング/藤間健/森井豊) この印刷物は、1,000部印刷し、印刷単価は一部28円です。